

スポーツ振興くじ(toto・BIG)の収益が役立てられた
天然芝生化新設事業で小学校に天然芝を設置

子どもたちが生き生きと運動に取り組めるグラウンドに

ケガが少なくな
天然芝のグラウンド

好天のもと、緑の映え
たれたパーを立てる
もたちが次々に飛び越
えていく。境港市立



天然芝で遊ぶ子供たち

日産の体育の授業の一コ
マだ。

「土のグラウンドから天然芝になることでケガも少なくなり、子どもたちの動きが今まで以上に生き生きとしたものになりました。体育の授業をはじめ、休み時間などにも積極的に活用しています」と語るのは、同校の老松幹雄校長。実際に休み時間を観いてみると、グラウンド一面に広がる天然芝の上を子どもたちは自由に駆け巡り、なかには裸足で走る姿も。こちらからそういなさいと指導したわけではなく、子どもたちが自発的に、こっちの方に気が持つて裸足になる子が出てきました。自然なカタチで子どもたちが運動を取り組み、元気に駆け回る姿を見られるのは嬉しいですね」

同校では登校後の運動場でのランニングを日課するなど、児童の体力づくりを意識的につけてきた。そんな高下が問題視されているが、

者に呼びかけた
タートル、保護

老松幹雄さん

生涯スポーツ社会を目指して

2010年、日本国民はパンクーバー五輪とサッカー・ワールドカップ(W杯)南アフリカ大会での日本代表の活躍に、沸き返った。両大会を現地で取材し、スポーツが持つ驚くべきエネルギーを改めて実感した。この見るスポーツの感動を、自らが「行いスポーツへの動機付けに出来ないだろうか。子どもも青年も、熟年もお年寄りも、都会の人も地方在住者も、誰もが、どこでも、自分に適したスポーツを楽しむ社会は、国民を健康にし、幸福にする。文部科学省が打ち出した「スポーツ立国戦略」の一番手の戦略は「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」だ。21世紀における、我が国でのスポーツの地位を高めて行きたい。

読売新聞東京本社編集局部長
(五輪担当・サッカー・推進事務局)

堀見要次郎

い「スポーツへの意識が、
市への助成で購入
したスプリンク



あなたの街のさまざまなスポーツ振興に役立てられている スポーツ振興くじ BIG の助成金

スポーツ振興くじの収益による助成は、平成14年度から開始されています。
これまでに約272億円の助成を行い、日本のスポーツ振興に役立てられてきました。

収益の1/3は国庫に納付され、教育・文化の振興、自然環境の保全、青少年の健全育成等の事業に、2/3がスポーツ振興事業に充てられます。助成は平成14年度から開始されており、これまでに約272億円の助成が行われ、日本のスポーツ振興のために役立てられてきました。(平成22年度は配分額を含む)

スポーツ振興くじ収益金

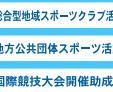
スポーツ普及に対する助成



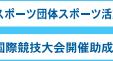
競技力向上に対する助成



地域スポーツ施設整備助成
総合型地域スポーツクラブ活動助成
地方公共団体スポーツ活動助成
国際競技大会開催助成



競技力向上に対する助成



グラウンドの芝生化など、地域住民が身近にスポーツ楽しめる施設の整備と団結力を目的とします。

地域住民が気軽にスポーツを楽しむ総合型地域スポーツクラブ活動助成

スポーツ震災・大震災の復興など、地域住民のスポーツ活動活性化を促すことを目的とします。

国際的な競技大会の開催に円滑に取り組むことを目的とします。

将来性を有する競技者の発掘育成強化助成

スポーツ震災や災害の復旧・スポーツ訓練施設外構整備など、国内のスポーツ活動強化を図ることを目的とします。